

勝利！ 闘争ジェット三里塚！ 行革粉碎！ 臨調

中江選挙闘争に勝利し反動攻勢をはね返せ

3/28 オフ会支部代表者会議開催

国鉄労働者を先頭に 決起せよ！

国鉄労働運動解体にむけた攻撃は、弱まるどころかますます激しさを増しています。中曽根反動内閣は行革の目玉として、「国鉄再建監理委員会設置法」の国会成立に全力をあげる一方で、3月25日、三公社四現業職員の年度末手当を抑制する方針を打ちだし、その中で特に、「経営状態の悪い」国鉄・林野は全面カットするとの方針を発表しました。

政府・自民党は、仲裁裁定・年度末手当の削減にひきつづき、年度末手当も支払わないという、国鉄労働者の生活権そのものを脅かす攻撃にできています。さらに国鉄当局は、時間内入浴規制の攻撃を開始し、これと対決して闘う国労の労働者に賃金カット、処分の攻撃を加え、現場労働者のギリギリの既得権すらもぎとろうとしています。

政府・支配者階級のこうした攻撃は、戦争にむけて反対勢力の拠点Ⅱ国鉄労働運動を叩きつぶすものであり、われわれは黙ってトリデをゆずり渡すわけにはいきません。いま国鉄労働者は敵の攻撃に全力で踏んばり、押し返していく闘いが求められています。

一切の屈服・裏切りを許さず 闘おう！

総評・公労協指導部は、敵の反動攻勢と対決せず、「春闘ヤマバ」とみられる時期に事前ストを配置しないなど、事実上ストなしを宣言するともに、賃上げ統一要求基準として設定した7%を修正し、自ら6%にひくめるという屈服を深めています。

一方、動労「本部」革マルの第一九回定中委は闘う方針をめぐって論議するどころか、もっぱら国労批判に終始し、とりわけ入浴闘争での裏切りを正当化し、「国労が闘うのが悪い」と国労に責任転嫁するなど、当局の先兵として国労破壊策動を強めています。また、仙台地本内の第4インター系排除を「成果」とし、新幹線革マル・船戸や「千葉地本」土屋に三里塚闘争へのベテンの取り組みを発言させ、三里塚闘争への介入すら策動しています。動労「本部」は革マルとして、ますます純化を深めており「革マル一掃・動労大改革」は全国鉄労働者の緊急の課題となっています。

動労千葉は、3月14日以降、当局の入浴規制攻撃に対し、全国で唯一国労との完全共闘を実現し、当局を圧倒して闘い抜いています。さらにこの闘いと結合して組織の総力をあげて闘っている、中江選挙闘争の勝利を通して、政府・自民党、国鉄当局の反動攻撃を粉碎していきましょうではありませんか。

当面する闘いの目標

- 1 八三年度新賃金要求・仲裁裁定完全実施・年度末手当獲得。
- 2 入浴規制攻撃粉碎。
- 3 国鉄再建監理委員会設置法粉碎。
- 4 運転適性検査反対。

具体的取り組み

- 1 当局に申し入れた第6・10・11号にもとづく団体交渉を強化し、要求の実現にむけて取り組む。
- 2 各支部は支部代終了後、3月31日までに全組合員との意志統一をはかる。
- 3 入浴規制攻撃に対しては、長期闘争を目標に闘いを継続する。
- 4 ワッペン着用を全組合員に徹底強化する。
- 5 3・31県春闘総決起集会に積極的に参加する。
- 6 3・31統一行動は、動労千葉の諸要求をかかげ、団体交渉の強化と結合させ次の戦術を配置し闘う。

* 全地上勤務者は、始業時から12時まで減産A行動実施。

当面するスケジュール

- ☆ 3・28 ↓ 4・1 中江選挙闘争第5次行動(後期)
- ☆ 3・31 県春闘総決起集会。
- ☆ 4・2 中江昌夫とともに・船橋市民の集い。
- ☆ 4・6 ↓ 4・9 中江選挙闘争第6次行動(前期)
- ☆ 4・11 ↓ 4・13 中江選挙闘争第6次行動(後期)
- ☆ 4・12 中江選挙闘争総決起集会。

★全組合員の総決起で、船橋市議選Ⅱ中江昌夫候補の必勝かちとれ！
★「一人5票獲得運動」を更に強化しよう！